



## 韓国サーバスのミーティングに参加

九州支部会員

ソウルで行われた韓国のサーバスミーティングに O（名前略、以後同じ記述）さんと参加してきました。関東から K さんという女性が参加され、日本からは 3 名、その他、台湾やタイ・南アフリカからの参加もありました。

私たちが受け取った案内状には 11 月 28 日の午後 8 時に Assembly と書いてあったので、その時間に行けばいいのだと思い、ゆっくり、道を尋ねながら会場のユースホステルに向かいました。到着したのは、6 時頃です。そしたら、私たちの到着が遅いとみんなが心配してくれていました。ミーティングは、午後 3 時から、いくつかのプログラムが用意されていたようで、私たちが着いた時はみなさんが夕食を済ませた頃でした。

状況がよくわからないまま、急いで夕食を済ませてサーバス総会に参加しました。参加者は 100 人強ぐらいでしょうか、若い人も多く、みなさんくつろいだ雰囲気です。一瞬、今からバンド演奏会でもあるのかな～と思いました。

当然ながら全て韓国語で進行されますので、私たちには内容がよくわかりません。時折、私たちのホストの I さんが要点を日本語で紙に書いて示してくださいましたので、少し、様子がわかりました。

韓国サーバスの活動がたくさん写真でスクリーンに映し出されて行きましたが、その中に何枚も九州支部との交流写真が出てきました。チェジュ、スンチョン、竹田・・・。思わず、声を出しながら見てしまいました。

印象に残ったのは韓国サーバスの理事会の報告の中のいくつか。その一つは、確かめてはいないのですが、70 歳以上は永年会員（？）で会費免除という規定をあたらしく作ったそうです。もう一つが役員交代システム。役員の任期は 2 年。副会長が次の会長になる。役員の仕事はトータルで 4 年。役員交代がスムーズ、という印象でした。日本からの参加ということで私たちも紹介され、O さんが九州サーバスと韓国サーバスの交流について英語で説明しました。

その後、ミニ講話として「風水」についての話がありました。韓国では風水が人気なのだそうです。I さんのメモ通訳のおかげで、退屈せずにすみしました。

総会の後は、2 段ベッドの部屋で上段に入って休みました。

ハンゲルで書かれた翌日の予定に、朝 6 時から散歩とあったので 5 時半に目覚ましをセットして寝ました。朝起きて外に出たら小雨が降り、誰もいないのでおかしいと思って、予定表をよく読んでみたら、個人で自由に散歩と書いてあり、納得しました。せっかく早起きしたので近くを散策しました。

宿泊したソウル国際ユースホステルは南山公園の中にあり、元 KCIA の本部だったそうです。近くに日本統治時代の記念碑みたいなものがありましたが、内容がよくわかりませんでした。

朝食をとり、玄関前で記念撮影をしてから、南山ツアーに出発しました。途中説明を聞きながら、と言っても説明の韓国語はほとんどわからず、みんなと一緒に韓国語、日本語、英語でおしゃべりをしながら、南山タワー（ソウルタワー）の入口の所まで歩きました。そこでビビンバの昼食をとって、お土産をもらって解散でした。私たちはホストの I さん・P さん夫妻と一緒にタワーに登り、雲の間からソウル市内を眺め、ソウルから福岡までが 500 余 km、東京まで 1000 余 km の表示に近さを実感しました。

その後は I さんの車で一緒にお宅に向かいました。娘さんのお部屋を使わせていただき

ました。そこでしばらく休んでから、4人で外出。市場を見物しながら高速バス乗り場の駅まで歩き、その近くにあるレストランで韓定食をご馳走になりました。

テーブルいっぱいの料理がテーブルごと引っ張ってこられて、私たちが座っていたテーブルにそのままカチッとセットされて配膳終了。びっくり。テーブルの天板が台車に乗せられてきてそれが客席のテーブルの上に載せられる仕組みだと分かりました。片付けも同じ要領で一瞬です。片付けの時、大急ぎで写真を撮りました。お腹一杯になって家に帰り、スーパーで買ったマッコリを飲みながら、雑談。Iさんは日本語と英語、娘さんと息子さんは英語が話せますので、会話は韓国語、英語、日本語で。韓国のお家はどこもよく片付いていること、その秘訣は？からはじまり、リサイクルやゴミ問題など話題は尽きません。



翌朝、そのマンション（韓国ではアパートと呼んでいます）のゴミ分別収集所に連れて行ってもらい、実際を見せていただきました。生ゴミは重量制と聞いたけど、どのようにするのだろうか興味津々。Iさんは生ゴミバケツを抱えて、その場所に行き、設置された生ゴミ機械にそのまま生ゴミを捨てます。するとすぐに重量が表示されます。その結果は機械使用前にIさんが差し込んだテレカのようなカードに記録され、後日の請求になります。主婦はできるだけ水気を切って重量を軽くして捨てるそうです。リサイクルも靴類、靴類、服類など細かに分かれています。韓国では衣類をそんなに長くタンスにしまっておくことはしないで、リサイクルしていくそうです。それで、家の中でもものがあふれていないのかな～と思いましたが、まだ、整理・整頓の秘訣がつかめませんでした。

その日は、近くにお住まいのサーバスメンバーS・Mさんという元高校の日本語教師の女性が来てくださり、Iさんと一緒にデイホストをしてくださいました。Iさんは仕事を休んで私たちにつき合ってくださいました。

最初は近くのオルレコースを歩いて、国立墓地のソウル顕忠院へ。そこは歴代の大統領のお墓や、兵士の墓碑が建ち並ぶ広大な公園で、きれいに整備されていました。埋葬されている方は朝鮮戦争で亡くなった方が多いそうです。私たちがよく知っている金大中大統領のお墓もありましたので参拝しました。

その後、電車に乗って、「妖しい彼女」という映画の撮影場所にもなったという「シルバーカフェ」に連れて行ってもらいました。散歩ができる公園の一角に建てられているカフェです。日替わりで歌や楽器の演奏などいろいろな催し物があり、お年寄りがたくさん集まって楽しんでおられました。日本語がわかるという87歳のおじいさんが応対してください、お茶をいただきながら少しだけお話しをお聞きしました。

次は、Iさんのお母さんのお宅訪問です。屋上には85歳のお母さんが作られた味噌やコチュジャンの甕が置いてあり、味見をさせていただきました。キムチは毎年手作りされるそうで、お母さんが作られたキムチをIさんの家でごちそうになりました。とてもおいしかったです。ソウルの街中でも味噌やキムチを手作りされているのは驚きでした。

帰りがけに、焼き魚定食の夕食を済ませて帰りました。途中スーパーに寄ってもらって、韓国のりやマッコリ、キムチなどのお土産を買いました。

帰ってからビールを飲みながら、息子さんも加わっていろいろおしゃべりしました。韓国語・日本語・英語での会話は、わかったりわからなかったりですが、何とか意思疎通はできるものです。

翌日、ディナーのような豪華な朝食をIさん夫婦と娘さんと5人でいただきました。息子さんは一足早く朝食をすませて出勤され、その後、Iさんと娘さんが出勤。しばらくしてPさんが私たちをバス停まで送ってくださって、帰国の途につきました。

帰りは1時間10分ばかりの飛行で、軽食を済ませたらもう着陸です。東京より近い韓国

は、時差もなく、治安もよく、物価も安く、人々も親切で大好きです。もっと韓国語を勉強して韓国語だけで会話できるようにしたいと思いました。